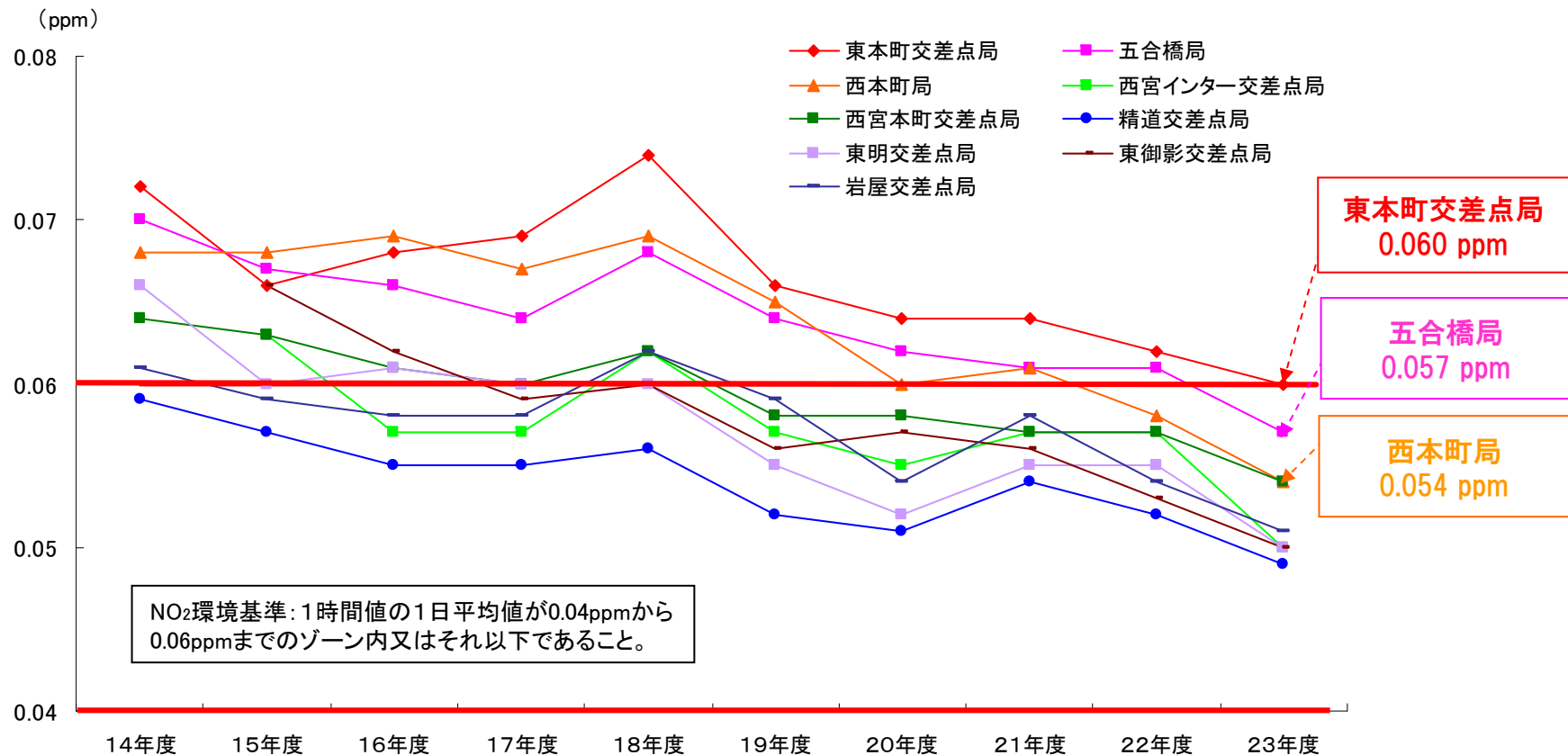


沿道環境の現状(二酸化窒素)

- 二酸化窒素(NO₂)は、平成23年度は全箇所環境基準のゾーン内に入っている。
- 平成18年度以降、日平均値の98%値は低下傾向にある。

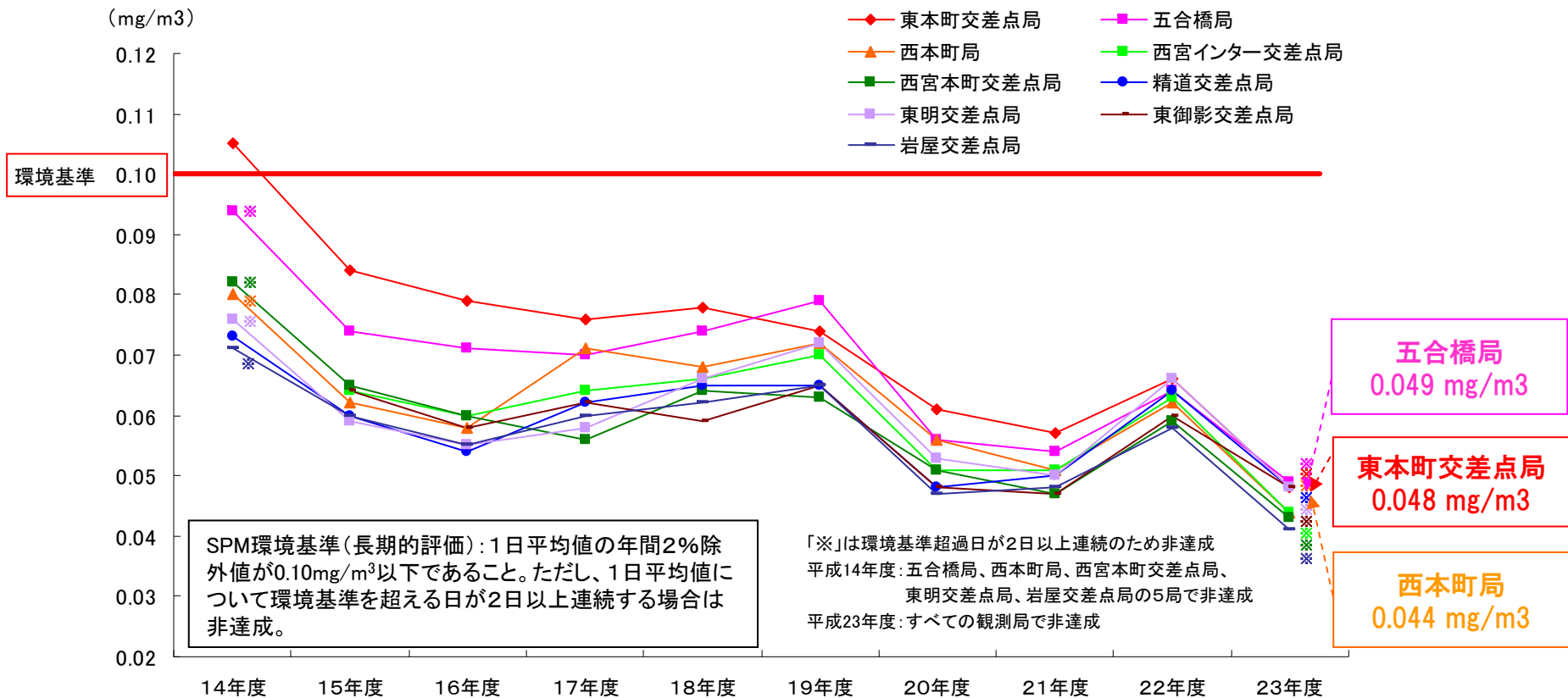
▼国道43号 二酸化窒素(NO₂) 日平均値の年間98%値の経年変化



沿道環境の現状(浮遊粒子状物質)

- 浮遊粒子状物質(SPM)は、平成23年度は全箇所で見逃し基準超過日数が2日以上連続のため非達成である。
- 平成23年度の日平均値の2%見逃し値は、前年度に比べて減少している。

▼国道43号 浮遊粒子状物質(SPM) 日平均値の年間2%見逃し値の経年変化



国道43号沿道(尼崎市域)の大気質 (NO₂)

- ・尼崎市域の3局において、近年では冬から春にかけて環境基準値超過日が多く見られる。
- ・平成18年度以降、環境基準値超過日は減少傾向にある。

▼尼崎市域の大気質(NO₂)

